

広島県中小企業団体中央会 2018年3月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

3月の出荷量は前月比21.7%増加、前年同月比16.6%増加となり、売上高は前月比21.2%増加、前年同月比13.8%増加となった。

平成29年度は前期と比べて若干出荷量が減少したが、これは前期に大きなスポット受注があったためである。近年、出荷量は海外向けや商品の多様化等により増加傾向にあるが、業態によってばらつき、業界全体が上向いているとは言いがたい。

木材・木製品

●木材・木製品

福山木材協同組合

例年に比べ、春先の需要が少ないため、不安である。先行き不透明感がある。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成30年2月の全国の住宅着工戸数は69,071戸で前年同月比2.6%減少
- ・季節調整済年率換算値では92.6万戸(前月比8.2%増)
- ・利用関係別では、持家は20,013戸で前年同月比6.1%減少、貸家は29,420戸で前年同月比4.6%減少、分譲住宅は19,023戸で前年同月比3.4%増加
- ・木造住宅の着工数は38,340戸で前年同月比3.2%減少
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で8か月連続の減少

<広島>

- ・広島県内の2月の着工戸数は1,492戸で前年比2.8%減少、このうち持家は401戸で前年比11.1%減少、貸家は611戸で前年比8.1%減少、分譲は479戸で前年比14.9%増加
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で2か月連続の減少となり、昨年末から好調を維持してきたプレカットの稼働も鈍化傾向
- ・地域別では広島市が着工戸数758戸で10.3%減少、福山市が283戸で11.3%減少、廿日市市は62戸で22.5%減少となった一方で、東広島市は137戸で71.3%増加、三原市は62戸で226.3%増加、尾道市は41戸で41.4%増加と地域ごとにばらつきがある結果となった
- ・全体としては、不需要期でも大きな落ち込みはなく、売上は一定水準に踏みとどまっており、新年度予算執行への期待もある
- ・住宅は将来減少が予想されるため先行き不安の声も強く、経営規模や業態によって景況感に偏りがある

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

印刷業界全体は、電子メディア等の伝える媒体の多様化により、厳しい状況が続いている。

何かに特化したり、紙メディア以外の仕事も取り込んでいる企業は仕事量が維持出来ているが、

社会環境の変化に対応出来ない企業は変わらず厳しい経営環境である。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

引き続き高操業の状況ではあるが、人手不足が深刻化している。

国として、労働力人口が継続していく中で、新たな外国人労働者に対する規制緩和策を検討してもらいたい。

来年度の消費税引き上げ後の経済失速が懸念されるが、その前に現在進行しているアメリカ、中国における貿易戦争及びトランプ政権の貿易赤字縮小を目的とした様々な政策が今後我々の経営環境に重大な影響を与える可能性があることを考えると、積極的な投資は国内においては出来ない状況である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は、全体的には各社良い状態で横ばい傾向にある。

樹脂原材料の値上げにより、収益悪化が懸念されている。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

30年3月 3,157 m³ (前年比7.64%減少)

30年2月 2,671 m³

29年3月 3,418 m³

平成29年度(平成29年4月～平成30年3月) 出荷前年度比1.74%減少

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区においては、製鉄機械、タービン・コンプレッサー及び航空機の後部胴体パネル組立の操業は、前月同様定時操業で推移しており、関連する協力会社も前月同様定時間操業となっている。

出島工業会協同組合

3月末は年度末ということもあり、仕事量・売上共に増加している。しかし、新年度に入ると、例年通り落ち着いてくることが予想される。

廃業による脱退が1社あった。

役員が高齢化している。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、自動車関連が好況の一方、スポット受注の減少と出荷時期の変更により前月比26.7%減少、前年同月比7.9%減少となった。

国内の工作機械業界の売上は、4ヶ月連続の1,500億円超えとなった。特に自動車関連が好調である。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月は、受注量の増加に伴い、前月比2.0%増加、前年同月比2.0%増加となった。

国内外での受注は横ばいで推移している。

最低賃金の上昇が経営を圧迫している。取引先に価格交渉をしているが、厳しいのが現状である。大手企業は下請を締め付ければいいのかもしいないが中小企業はそうはいかない。

残業規制が厳しくなれば、稼働日数、稼働時間の減少による生産量の減少も予想され、経営を圧迫する可能性もでてくる。

平成30年度から所得控除の対象となる配偶者の年収の上限が103万円から150万円に引き上げられる。しかし、年収が130万円を超えると社会保険料の支払義務が発生するのは縦割り行政の弊害ではないか。

業界ごとに事情が異なるのに法律が十把一絡げなのはいかなものか。意見を述べる場が少ない。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。マツダの国内生産台数が継続して高レベルにあるため、好況を維持

- ・2月の国内自動車販売台数は全需が667千台、前年同月比3.5%減少と6ヶ月連続の前年割れ。登録車は前年比4.9%減少と6ヶ月連続の前年割れ、軽自動車も0.7%減少と3ヶ月振りの前年割れ。マツダ車は2.2%増加と2ヶ月振りの前年超え
- ・アメリカの2月の全需は1,302千台で前年同月比2.4%減少と2ヶ月振りの前年割れ。マツダ車は同12.7%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・欧州の2月の全需は1,292千台で、前年同月比3.4%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車は同7.2%増加と5ヶ月連続の前年超え
- ・中国の2月の全需は1,948千台で、前年同月比0.5%増加。マツダ車は同27.3%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の2月の海外販売合計台数は108千台、前年同月比15.2%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの2月の輸出動向については、輸出台数は前年比16.9%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの2月の国内生産台数は、前年同月比11.3%増加と3ヶ月連続の前年超え

●輸送用機械器具（造船）

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成30年3月の船舶建造許可実績は7隻302,300総トン（前月2隻164,200総トン、前年同月5隻220,900総トン）であった。なお、内訳としては、国内船が2隻で全て貨物船、輸出船は5隻でこのうち貨物船が1隻、油槽船が4隻となっている。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

仕事量が減少したことで残業もなく、土曜日も休みの状態である。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

昨年4月を境に業況は回復基調にある。特にベッドが回復傾向にある。

家具業界の2017年の速報値によると、家具全体では前年比3%減少となった。内訳としては、応接5%減少、食堂椅子6%減少、ベッド2%減少、食器棚10%減少、学習机16%減少となった。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

大手運送業者の運賃値上げにより、中小企業はコストアップとなっている。

「資材関連」においては、住宅着工件数は減少傾向にある。

「雑貨」においては、地方小売店は販売低調、日用雑貨も販売苦戦。

「繊維」においては、婦人下着は、急激な気温の上昇、花粉・黄砂の影響で春夏物商戦は好調である。

「食品」においては、外食産業向けは前年比減少傾向が継続している。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の1月の着工状況は、前年比3.3%減少。内訳としては、持家は前月比変化なし、分譲51%増加、貸家33%減少となり、貸家が大きく減少した。今月は、民間物件が牽引し、順調に推移した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

3月に入り、展示即売会を開くなど、徐々に動きが出てきている。又、工務店や新築工事、リフォームなどにより、若干仕事が出てきてはいるが、売行きは小口注文程度である。相場は横ばいで推移している。

小売業

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合

新規販売先が増加したことと、昨年末からの野菜の不作による相場高により売上は増加した。利益率も上がっており、収益状況は好転している。

広島生鮮三品連絡協議会

人手不足が続いており、事業拡大が困難な組合員が増えている。

消費税について、内税・外税と変更の都度、事業者は対応を迫られるため、一定の方式を継続してもらいたい。また、中小企業者においては、外税方式が望まれる。軽減税率の導入にあたっては、小売事業者の事務負担軽減を考慮してほしい。

協同組合三次ショッピングセンター

人材不足や経営者、従業員の高齢化により個店の休業が増え、営業日数が減ったことから、全体の売上が落ち込んでいる。しかし、新たなイベントや地元ケーブルテレビのCM等の効果もあり、来店客数は前年比変化なしとなった。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比0.6%増加となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比7.6%減少、

冷蔵庫同1.1%増加、洗濯機同0.3%減少、IHクッキングヒーター同2.4%減少、エアコン同2.5%増加となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

一昨年3月に、呉市からの「来てクレにぎわい店舗」公募事業助成金を活用して開店したお好み焼き店が、売上不振のため3月中旬に廃業し、組合からも脱退した。

今年初めて「まちゼミ」を開催したが、認知度不足からか、売上、新規顧客の獲得に至らない店舗が多かった。今後も継続することで、認知度向上や新規顧客の来店を促す仕組み作りを構築していきたい。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比16.4%増加、前年同月比1.8%増加。車検場収入は前月比15.5%増加、前年同月比2.9%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比40.7%増加、前年比2.7%減少となっている。

年間の状況としては、車検台数は0.2%減少で、車検場収入は0.7%減少となった。重量税、登録印紙の売上は、4.3%減少となった。特に1月、2月の減少が目立っている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

年度末ということもあり、多忙であった。

年度内に間に合わない物件が4月にずれ込み多少売上増加の見込みである。

依然、人手不足が課題である。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目の防火・防災ラベルについて、3月度は前月比0.8%減少とほぼ変化なし。前年同月比でもカーテン10.9%減少、敷物20.5%減少、壁装16.7%減少と3品目合計でも14.5%と大きく減少した。

昨年秋より回復基調であるが、夏場の低調の影響が大きい。内装工事については、大きなウエイトを占める新築物件が減少気味であり、今後も楽観視できない見通しである。

3月も引き続き人手不足が深刻で、工賃の上昇が工事の収益に影響を与えている。

福山地区電気工事業協同組合

3月の工事受注件数は、前月比16.8%増加、前年比28.9%増加となった。

神辺建設業協同組合

年度末を迎え、公共案件の発注は、繰越案件を除きほぼ止まっているため、4月以降の新年度発注工事を6月と見込み、その時期までの民間需要を積極的に受注する動きが見られる。

運輸業

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

車両不足を背景に、チャーター便、引っ越し、スポット便ともに運賃が上昇し、売上は増加したが、昨年3月に比べ軽油価格が大きく値上がりしたことと、下請業者へ依頼する運賃も値上がりしているため、収益の改善には至っていない。

引っ越しは「引っ越し難民」対策で企業が移動時期を拡散したことと、運送事業者が前もって車を確保したことで、昨年ほどの混乱はなかった。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

今月は、年度末ということもあり、全体的に荷動きは好調に推移し、特に中旬以降は多忙であった。売上、収益は前月比増加、前年同月比変化なしとなった。

松永地区トラック事業協同組合

3月は年度末の影響もあり貨物輸送量は増加し、売上、収益共に増加したが、前年同月比は、ドライバー不足の影響により車両の稼働率が低下し売上に大きな変化は見られなかった。軽油価格が上昇しており、収益状況が悪化しつつある。

運送業界も職場環境の改善、賃金制度や労働時間の見直し等、課題は多いが、直ちに改善することが難しいのが実態である。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

内航輸送に関して、対累計前年比では、特に大きな変化はない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月の売上は、一般評価がやや増えたことにより前年比増加となった。

前年同月比は、前月までと同様、固定資産評価の入金のタイミングにより収益、資金繰りが悪化した。

年度末のため、一般評価等が増加見込みである。新規加入により組合員が1名増加した。